

第2回 学校評議員会 議事録

1. はじめに

学校評議員制度の趣旨等を踏まえ、本校において、開催された学校評議員会について報告致します。
また、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携、協力し一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していきたいと思えます。

2. 開催の期日

平成29年12月19日(火) 10:00~11:10

3. 場 所 本校 応接室

4. 参加者 学校評議員 … 神谷 大介(欠席)・宮里 信善・新垣 美由紀・大城 貴子
校 長 … 真喜屋 祥子(欠席)
教 頭 … 平良 功 内間 秀樹
事 務 長 … 長嶺真勝
各学部主事 … 小：安里 夕美 中：當山 直樹 高：安慶名 英雄
養護教諭 … 大城 忍・新城 恵美香

5. 学校からの報告(別紙参照)

- ① 2学期の取り組み …… HP-01~02 取り組み参照
- ② 保健指導部の取り組み …… HP-04-1 学校保健計画参照
- ③ 図書部の取り組み …… HP-05 図書館活動報告参照
- ④ 進路指導部の取り組み …… HP-06 進路活動報告参照

6. 評議員からの質疑応答

Q：おきなわマラソンの際は、駐車場をワンコインで貸し出しているが、その時に「泡瀬特別支援学校」のPRができないものか？(例えば学校のパンフのようなものがあれば、配布するとか、掲示するとか……。)

A：お気持ちは有り難いが、沖縄マラソンは対外的なイベントであり、学校で取り組む行事ではない、ということと、チラシやパンフなどで学校の様子をもっと周囲に発信したら、というご意見については、個人情報保護の観点から、本人や保護者へ確認をとる必要があり、それらの課題を含め、引き取らせていただき校長も交え検討させていただきます。

Q：進路について、毎年、大学進学生を出していますか？

A：生徒の実態が年々重度化し、教科書を使っただけの授業が困難な生徒が増えてきているので毎年、大学進学生が出てくる、というわけではない。普通中学校から入学してきた生徒の中には、本校の高等部ではなく、普通高校への進学を強く希望する生徒や保護者もいるし、本校の高等部へ進学しても大学進学めざす生徒もいる。

Q：図書室利用に、自力でバーコードを読み取らせて、本の借り入れや返却などができる生徒がいるか？

A：現状は、職員がフォローしたりしながら借りている。

Q：PTA 活動との連携で、読み聞かせ「レインボー」の活動が素晴らしい。メンバーは卒業生の保護者で構成されているのか？

A：構成メンバーは在校生の保護者です。医ケア待機児童の保護者さんが多く参加しています。たまに教務主任も加わり、楽しい読み聞かせを披露してくれます。